

平成27年度
安来市教育委員会
点検・評価報告書

安来市教育委員会

安来市教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び施行状況について、毎年教育委員会が点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

これに伴い、教育委員会では課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、信頼される教育委員会となるため、平成27年度に実施した事務・事業について、点検・評価の結果を報告するものです。

【平成27年度の総括】

平成27年4月1日、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行された。教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るものである。この見直しの特徴として、4つのポイントがあげられた。

一つ目は、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置・任期は3年

二つ目は、教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

三つ目は、すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置

四つ目は、教育に関する「大綱」を首長が策定するというものである。

この法律の施行に伴い、安来市においては教育長1名、教育委員4名の計5名での新教育委員会制度をスタートした。平成27年度は教育委員会の開催は定例会12回のみであったが、審議案件の内容は幅広く、深いものが多くあった。案件の主なものは、平成28年度使用松江地区中学校教科用図書採択・選定について、安来市給食センター“ハッピークック”の管理運営規則等について、市立幼稚園関連について、史跡富田城跡整備計画について、平成28年度の教育委員会重点施策について、教職員人事についてなどの案件、延べ19案件について慎重審議した。そして、承認すべき事項については全員一致で承認した。

また、安来市給食センター建設は、予定通り平成27年12月末に完成し、平成28年1月から3月までの準備期間を経て、平成28年4月から4中学校、1幼稚園への供給開始に向けて順調に事業が進んだ。

報告事項については、史跡富田城跡整備計画の契約締結について、また2市1町（安来市、雲南市、奥出雲町）で取り組んでいる日本遺産認定事業について、外国語指導助手の人事（1名増員）配置について、市議会報告、全国学力・学習状況調査結果の報告など、各種事業の進捗状況や人事案件など21項目についての報告と意見交換を行った。

その他、平成27年度の教育委員会事務・事業については、例年通り各担当部課から評価点検表を示すものとするが、幼・小・中学校教育においては、諸々の課題はあるものの

全般的に落ち着きのある学校生活を過ごし、成果をあげることができた。しかし、個々の幼児、児童、生徒へのさらなるきめ細やかな支援は必要であり、そうした校内体制や支援体制を継続的に構築していく必要がある。

終わりに、平成27年9月24日から安来市教育委員会事務局は、伯太庁舎から広瀬庁舎に移転し業務を行っている。また、平成27年12月には岸田委員が任期満了で退任され、後任には新たに加藤委員が就任された。安来市教育委員会は、今後も新教育委員会制度の意義をしっかりと把握し、その役割と責任をしっかりと果たし、市民の負託に応えていきたい。

平成27年度 教育委員会開催一覧

委員会名	開催日
第156回4月定例教育委員会	平成27年 4月16日
第157回5月定例教育委員会	平成27年 5月28日
第158回6月定例教育委員会	平成27年 6月24日
第159回7月定例教育委員会	平成27年 7月22日
第160回8月定例教育委員会	平成27年 8月10日
第161回9月定例教育委員会	平成27年 9月29日
第162回10月定例教育委員会	平成27年10月21日
第163回11月定例教育委員会	平成27年11月19日
第164回12月定例教育委員会	平成27年12月17日
第165回1月定例教育委員会	平成28年 1月21日
第166回2月定例教育委員会	平成28年 2月17日
第167回3月定例教育委員会	平成28年 3月28日

平成27年度 教育委員会審議案件等一覧

平成27年度 教育委員会会議 審議案件

番号	件名	提出日
1	松江採択地区教科用図書採択協議会規約について	4月16日
2	設備整備計画の事後評価について	4月16日
3	宇賀荘・広瀬幼稚園について	7月22日
4	平成26年度安来市教育委員会点検・評価報告書について	7月22日
5	平成28年度使用中学校用教科用図書の選定について	8月10日
6	9月市議会について	8月10日
7	安来市給食センター食材等調達連絡協議会設置要綱について	9月29日
8	宇賀荘幼稚園平成28年度入園児募集について	9月29日
9	史跡富田城跡整備計画について	10月21日
10	12月市議会について	11月19日
11	平成28年度重点施策について	11月19日
12	人事について	11月19日
13	人事について	12月17日
14	平成28年度幼稚園入園児募集状況について	12月17日
15	安来市給食センター管理運営規則等について	1月21日
16	人事について	2月17日
17	3月市議会について	2月17日
18	教育委員会規則等改正について	3月28日
19	教育委員会事務局等人事について	3月28日

平成27年度 教育委員会 報告事項

番号	件名	提出日
1	伯太中学校火災について	5月28日
2	安来市給食センター建設工事に伴う厨房機器購入契約の締結等について	5月28日
3	給食センター建設関係について	6月24日
4	6月市議会報告について	6月24日
5	安来市小中学校児童生徒派遣費交付金交付要綱の一部改正について	6月24日
6	外国語指導助手の人事について	8月10日
7	教育委員会事務局庁舎移転について	8月10日
8	給食センターについて	8月10日
9	9月市議会について	9月29日
10	安来市自死対策会議について	9月29日
11	全国学力・学習状況調査結果について	9月29日
12	安来市給食センターの愛称決定について	11月19日
13	12月市議会について	12月17日
14	史跡富田城跡整備計画の契約締結（工事用道路整備計画）について	12月17日
15	第一中学校に中国籍生徒の転入について	12月17日
16	母里小学校インフルエンザによる学校閉鎖について	12月17日
17	日本遺産申請について	1月21日
18	安来市立学校文書管理要綱について	1月21日
19	安来市自死対策協議会について	3月28日
20	3月市議会について	3月28日
21	教育長職務代理者について	3月28日

事務事業名	教育委員会開催業務	課名	教育総務課
-------	-----------	----	-------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	教育行政の向上。 教育委員の資質向上。
	対象 (誰・何を対象として)	教育委員会
	手段 (どのようなやり方で)	教育委員会の開催、総合教育会議出席、県教育委員研修会参加、教育行政視察研修、学校訪問。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	上記手段により、県教育委員会及び学校との連絡を密にし、教育問題への対処、教育行政の円滑化、活性化を図る。

【必要経費】

項目		金額 (千円)
事業費	①事業費	2,274
	一般財源	2,274
	財源内訳	
	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	

【実績】

実績	<p>定期的な教育委員会(年12回開催)の開催をした。教科書選定や給食センター建設および管理運営、史跡富田城跡整備計画、その他教育委員会に関する条例・規則等の制定・改廃等19の議案について審議を行った。また、島根県市町村教育委員会連合会研修会へ参加した。</p> <p>それぞれの担当地区の教育委員による学校訪問等を行い、学校現場の取り組み等について話を聞き、理解を深めた。</p>
----	---

【評価】

評価	<p>今年度より新教育委員会制度が始まり、新たな体制での委員会となった。教育委員会においては、法律に基づき毎月教育委員会定例会を開催し、事務局と連携しながら真剣な議論によって施策を推進した。また、総合教育会議に参画し、安来市における教育の目標や施策の方針である教育大綱を定めた。</p> <p>さらに、研修会等に積極的に参加し、意見交換・現地の状況を確認するなど、活発な活動を通じて教育行政の推進に努めた。</p>
----	---

事務事業名	学校・園施設管理事業	課名	教育総務課
-------	------------	----	-------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	学校・園運営の円滑化及び教育の充実を図るため。
	対象 (誰・何を対象として)	学校・園施設(学校児童、生徒、園児、教職員)。
	手段 (どのようなやり方で)	施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、予算に基づき維持修繕、営繕工事を執行する。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行する。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	施設の維持管理の徹底及び教育環境の安全確保と向上。

【必要経費】

項目		金額(千円)	
事業費	①事業費	374,066	
	一般財源	287,393	
	財源内訳	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	27,000
		その他	58,873

【実績】

実績	<p>主な実施工事・業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校調理室エアコン設置工事 ・小学校エアコン購入事業(37台) ・小学校支援学級改造工事 ・中学校給食配膳室整備事業 ・中学校エアコン購入事業(34台) ・第三中学校プール跡地造成工事
----	--

【評価】

評価	<p>児童、生徒及び園児が安全で安心して生活できるよう施設の破損、老朽等による危険箇所を確認し、修繕及び営繕工事を行った。</p> <p>自校給食を実施している小中学校の調理室へのエアコン設置、そして給食未施行校における給食センターからの給食受け入れ施設の整備等を行った。</p> <p>また、中学校の全普通教室および全小学校の2年生教室、特別支援教室を中心としたエアコン設置を行い、教育環境の改善を図った。エアコンについては、平成29年度末までに全小中学校普通教室への設置を計画している。</p>
----	---

事務事業名	教育支援センター運営事業	課名	教育総務課
-------	--------------	----	-------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	教育支援センターに通所できる不登校児童・生徒の集団生活への適応、基本的生活習慣定着支援、様々な体験の充実、学力の向上を図る。
	対象 (誰・何を対象として)	不登校児童・生徒及びその保護者。
	手段 (どのようなやり方で)	教育支援センターの運営・設備及び相談員・支援員の配置。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	不登校児童・生徒の社会的自立を図る。

【必要経費】

項目		金額(千円)	
事業費	①事業費	12,167	
	一般財源	12,156	
	財源内訳	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	11

【実績】

実績	<p>教育支援センターへ12名の児童生徒が通所した。 児童生徒及び保護者から、来所及び電話による教育相談を延べ394回行い、また、家庭及び学校への訪問指導を167回実施した。特に、来所による相談件数は250件となっており依然として多い。 その他、学校や保護者への支援として専門講師による研修会を開催した。</p>
----	--

【評価】

評価	<p>登校したくても登校できない児童生徒の居場所を確保するとともに、個別支援や集団活動の場として効果を上げているが、学校復帰に向けてはさらなる取組の工夫や改善、支援の体制や内容の見直しをしていく必要がある。 また、不登校児童生徒の中に発達障がいのある児童生徒もいるという実態があり、特別支援教育も視野に入れた支援充実が必要である。</p>
----	--

事務事業名	給食センター建設事業	課名	給食センター開設準備室
-------	------------	----	-------------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	小・中学校・幼稚園の完全給食実施。 献立、給食費の統一。
	対象 (誰・何を対象として)	児童・生徒・園児・教職員。
	手段 (どのようなやり方で)	給食センター建設検討委員会の開催、基本構想・基本計画・基本設計・実施設計・各種計画の策定。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	HACCPを取り入れた施設整備により、安心安全な学校給食の提供、アレルギー食の対応や食育の推進。

【必要経費】

項目		金額(千円)
事業費	①事業費	613,103
	一般財源	37,203
	財源内訳	
	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	476,200
その他	99,700	

【実績】

実績	【給食センター建設事業】 主な業務 工事監理委託業務 建築工事 機械電気等設備工事 厨房機器・食器・調理器具類購入
----	---

【評価】

評価	27年1月に建設工事に着工、同年12月に完成。28年4月に供用開始。
----	------------------------------------

事務事業名	学校図書館支援事業	課名	学校教育課
-------	-----------	----	-------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	児童生徒の徳育・知育の推進を図るために学校図書館を活性化させる
	対象 (誰・何を対象として)	市内小中学校22校
	手段 (どのようなやり方で)	学校図書館支援スタッフを配置し、各小中学校の図書館に学校司書等の人的支援を行う。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	児童生徒の読書に対する興味及び読書量が向上し、発育期における人格の形成に幅広い効果がある。また、調べ学習等に活用して、自発的・主体的な学習を推進する効果がある。

【必要経費】

項目		金額(千円)	
事業費	①事業費	33,073	
	財源内訳	一般財源	20,051
		国庫支出金	0
		県支出金	12,889
		地方債	0
		その他	133

【実績】

実績	<p>学校図書館の活用を推進するため、市内22校すべての小中学校に学校司書を配置している。また、学校図書館支援スタッフ(1名)を教育委員会に配置し、定期的、継続的に学校を訪問し、学校司書の支援にあたりるとともに、市立図書館と連携を図り現状課題に応じたアドバイスをおこなってきた。その結果、各校で様々な取組が展開され、読書への関心が高まり児童生徒の読書量も増加し「読書センター」としての役割を果たしている。また、図書館を活用した授業も多く実践されるようになり、「学習・情報センター」としての機能も充実しつつある。</p>
----	---

【評価】

評価	<p>市内22校すべての小中学校に学校司書を配置したうえで、学校図書館支援スタッフを教育委員会に配置し、計画的に学校訪問を行い、市立図書館と連携を図ったり、関係職員の情報交換の場を定期的に設定したりするなどの支援をすることで、児童・生徒の図書館利用や読書活動への関心を高めることに大きく寄与したとともに、図書館を活用した学習の実施が推進され、徳育や知育の伸長を図ることができた。</p>
----	---

事務事業名	就学移行支援事業	課名	学校教育課
-------	----------	----	-------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	何らかの支援が必要となる可能性のある幼児に早期から気づいていくとともに、子どもたちを支えるより良い関わりを共に考えていく。子どもや保護者が笑顔で就学を迎えることができるよう、移行支援の充実につなげる。
	対象 (誰・何を対象として)	市内居住の5歳児および保護者。
	手段 (どのようなやり方で)	事前に保護者・保育士及び幼稚園教員にアンケートを配布し、提出のあった者に相談会への案内を送り「5歳児相談会」を実施する。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	子どもの発達状況を保護者が把握するきっかけとなったり、就学に向けた適切な対応を考えたりすることで、小学校への移行を円滑にする効果がある。

【必要経費】

項目		金額(千円)
事業費	①事業費	679
	一般財源	679
	財源内訳	
	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	
その他		

【実績】

実績	<p>「相談あり」と回答した保護者へ、5歳児相談会の案内を行い、7回の5歳児相談会を実施した。医師による観察・問診と発達相談等により、継続的な対応や支援が必要だと考えられる幼児には、保護者と継続電話相談等を実施した。また、保護者からの相談への対応として「すこやか教室」での療育活動や福祉部局(子ども未来課)と連携しながらの観察・助言等を行った。</p> <p>5歳児336人に対し、アンケート返却数は244人(72.6%)、相談対応数102人(30.3%)だった。相談対応のうち、5歳児相談会並びに個別相談数は38件(全対象児の11%)だった。</p>
----	--

【評価】

評価	年間7回の5歳児相談会並びに保護者の希望にそった個別相談を実施したことで、就学時健診までの間に支援が必要な幼児への「気づき・支援・対応・関係機関との連携」を進めることができた。
----	--

事務事業名	文化財保護事業	課名	文化課
-------	---------	----	-----

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	市内の文化財を保護・活用することにより、地域づくり、まちづくりの振興に寄与する。
	対象 (誰・何を対象として)	市民、観光客、土地開発事業者等。
	手段 (どのようなやり方で)	史跡等の文化財については、修繕や公園内の草刈等を委託し維持管理を行う。 埋蔵文化財については、発掘調査を行い、詳細な記録をとる。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	史跡公園の環境美化に努めることにより、遺跡の保護と地域の活性化及び交流人口の拡大を図る。埋蔵文化財の有無を調べることにより、開発事業等の円滑化を図る。

【必要経費】

項目		金額(千円)
事業費	①事業費	11,191
	財源内訳	
	一般財源	9,906
	国庫支出金	1,285
	県支出金	0
	地方債	0
その他	0	

【事業実績】

事業実績	<p>【発掘調査事業】 埋蔵文化財の有無を調べるため、①下の谷川通常砂防工事、②大塚地区農地整備事業、③和田南土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財試掘調査を実施した。</p>
	<p>【史跡公園管理事業】 史跡公園および指定遺跡の草刈等の維持管理を行い、史跡の保全と清掃活動に努めた。古代出雲王陵の丘造山公園においては、指定管理者制度による委託を行った。</p>
	<p>【安来市文化財保存事業費補助事業】 傷みが見られた清水寺所蔵の重要文化財魔多羅神坐像及び木造阿弥陀如来像の修理事業を、国、県とともに市の補助事業として行った。</p>

【評価】

評価	<p>文化財の保護活用を図るため、地元ボランティア団体との連携を取りながら、草刈等恒常的な清掃活動を実施し、文化財等の適切な維持管理を図ることができた。このうち、古代出雲王陵の丘造山公園は、地域人材の活用や地域づくりの観点から指定管理者制度を導入し、遺跡の保護に併せ、地域の活性化に寄与することができた。</p> <p>各種開発事業に先立ち、埋蔵文化財の有無を調べる試掘調査を実施することにより、事業の円滑な推進を図ることができた。</p>
----	--

事務事業名	図書館・博物館等管理運営事業	課名	文化課
-------	----------------	----	-----

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	図書館(市立図書館、はくた文化学習館図書室、ひろせ図書室)、博物館等(和鋼博物館、金屋子神話民俗館、市立歴史資料館、市立民俗資料館)の入館者が快適に利用できるよう、管理・運営を行う。
	対象 (誰・何を対象として)	市民、観光客等。
	手段 (どのようなやり方で)	図書館においては、市民のニーズに合った図書の選定、情報提供、レファレンス等を行う。博物館等においては、企画展の開催、研究活動、地域との連携を図る。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	図書館においては、読書活動を盛んにして、よりよい生涯学習社会を構築する。博物館等においては、郷土の文化・歴史・民俗等に関する資料を展示して、地域文化の発展に寄与する。

【必要経費】

項目		金額(千円)
事業費	①事業費	96,529
	財源内訳	
	一般財源	88,262
	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	0
その他	8,267	

【事業実績】

事業実績	【図書館管理運営事業】 来館者が快適に過ごせるよう各図書館の施設管理に努めるとともに、利用者が満足できる図書資料を整理し、レファレンスサービスの充実を図った。
	【博物館等管理運営事業】 来館者の目的に応えるよう説明の充実や施設管理に努めた。

【評価】

評価	市立図書館では、おはなし会やこども読書会等の事業を行い、生涯学習の拠点施設として利用者サービスの向上を図った。 和鋼博物館・歴史資料館等では、歴史・文化・民俗等に関わる資料の収集・保管・展示を行うとともに、学校教育において活用を図ることができた。
----	--

事務事業名	文化振興事業	課名	文化課
-------	--------	----	-----

事業の内容	目的 (何のために)	芸術文化を愛好する市民に作品鑑賞や発表の場を提供し、文化振興の推進に寄与する。
	対象 (誰・何を対象として)	安来市民、安来市を中心に活動している人、また安来市に通勤・通学する人。観光客等。
	手段 (どのようなやり方で)	総合文化祭及び美術展は、実行委員会を組織し実施する。加納美術館においては指定管理者制度を導入し、管理を委託する。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	安来市の文化振興に寄与し、芸術文化を愛好する市民に発表の機会と場を提供するとともに、作品を鑑賞すること等で市民の芸術文化への関心を高める。

【必要経費】

項 目		金額(千円)
事業費	①事業費	7,849
	財源内訳	
	一般財源	7,849
	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	0
その他	0	

【事業実績】

事業実績	<p>【安来市総合文化祭、安来市美術展開催事業】</p> <p>安来市総合文化祭は、芸術文化を愛好する市民に発表の機会の提供とともに作品を鑑賞すること等で芸術文化への関心を高めることを目的として10月から11月にかけて安来中央交流センター等で開催した。安来市美術展は、市民から作品を募り優れた作品を展示し発表と鑑賞の機会をつくり美術・文化の振興に寄与する。洋画・写真部門で、7月から8月にかけて和鋼博物館等で開催した。</p>
	<p>【加納美術館管理運営事業】</p> <p>指定管理者に管理運営を委託し、適切な管理を行った。</p>

【評価】

評価	<p>総合文化祭は日頃創作活動を行っている方々が気軽に参加し、芸術の裾野を広げることができた。市美術展は審査や合評会を通じて直接アドバイスを送り、個人のレベルアップを図ることができた。両事業とも、多数の市民の皆さまに作品を鑑賞していただき、芸術文化への関心と市民文化の醸成を図ることができた。</p> <p>加納美術館においては、指定管理制度による委託を実施し、適切な管理運営を行うことができた。</p>
----	--

事務事業名	学校給食管理事業	課名	教育総務課
-------	----------	----	-------

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	安心安全な給食の実施及び食育の推進。
	対象 (誰・何を対象として)	学校児童、生徒、教職員。
	手段 (どのようなやり方で)	徹底した食品管理及び衛生管理。 食育に関する情報提供。
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	食中毒の発生防止、異物混入の際の迅速な対応を強化し、安心安全な給食を提供し、また食育を通じ、児童、生徒の健全な発育を助ける。

【必要経費】

項目		金額(千円)	
事業費	①事業費	66,423	
	一般財源	66,225	
	財源内訳	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	198

【実績】

実績	<p>小学校 給食実施校 17校 中学校 給食実施校 1校 弁当提供(昼食費補助) 1校</p> <p>献立検討会、研修会の開催 各月1回 調理師、栄養職員対象の食品衛生管理研修開催 親子料理教室の開催 夏休み期間 3日間</p>
----	--

【評価】

評価	<p>給食センターへの移行を踏まえ修繕等行う必要がある。 各学校の給食は、安定して実施でき、今後も安全に提供できるよう努める。 衛生管理、異物混入防止の徹底に努め、食育活動や地産地消も推進する。</p>
----	---

事務事業名	史跡富田城整備事業	課名	文化課
-------	-----------	----	-----

【事務事業の概要】

事業の内容	目的 (何のために)	地域のシンボルとなるよう
	対象 (誰・何を対象として)	史跡富田城跡および周辺の遺跡等
	手段 (どのようなやり方で)	城跡を顕在化するような整備、活用を行う
	成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	観光資源あるいは生涯学習の場として活用できるようになる。

【必要経費】

項目		金額(千円)
事業費	①事業費	108,137
	一般財源	44,720
	財源内訳	
	国庫支出金	60,529
	県支出金	2,888
	地方債	0
その他	0	

【事業実績】

事業実績	<p>【史跡富田城跡整備】 史跡富田城跡を地域のシンボルとして、観光資源あるいは生涯学習の場として活用できるよう城跡の顕在化を図るような整備を行う。平成27年度は、歴史的景観を復元するため山頂部の伐採等を実施した。</p>
	<p>【史跡富田城跡史跡等買上げ】 史跡富田城跡の整備・活用を図るため、計画的に公有地化を進める。平成27年度は、千畳平・馬乗馬場、大東成、山頂部地区等の公有地化を実施した。</p>
	<p>【史跡富田城跡発掘調査】 史跡富田城跡の整備・活用を図るため、基礎データを得るために事前に発掘調査を実施した。平成27年度は、千畳平地区等を実施した。</p>

【評価】

評価	地域のシンボルとして史跡富田城跡の整備を行うため、平成27年度は山頂部の伐採等を実施し、城跡を顕在化することができた。
----	---